

提案書評価基準

【評価方法】

(1) 評価はA、B、Cの3段階評価とする。

ただし、「2 提案者について(2) 障害者雇用に関する取組及び(3) 健康経営に関する取組」については、AまたはCの2段階評価とする。

また、「6 ダッシュボード機能」、「7 学習、生活・健康面の各種データ収集」、「8 セキュリティ」、「9 『家庭と学校の連絡』システム構築」については、A、B、C、D、Eの5段階評価とする。

(2) 評価点について、次のように配点を行う。

配点にA=5/5、B=3/5、C=1/5を乗じて算出する。

ただし、「6 ダッシュボード機能」、「7 学習、生活・健康面の各種データ収集」、「8 セキュリティ」、「9 『家庭と学校の連絡』システム構築」については、A=5/5、B=4/5、C=3/5、D=2/5、E=1/5を乗じて算出する。

(3) 各評価委員の評価の合計点の平均が200点に満たない場合は受託候補者として特定しない。

【第一順位の決定方法】

(1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする

(2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「提案書評価基準」の評価項目「8 セキュリティ」に係る提案の合計得点が最も高い提案者を第一順位とする。

(3) 上記の方法によりなお、第一順位が決定しない場合は出席委員の多数決により第一順位を決定する。それでもなお決しない場合は委員長が第一順位を決定する。

大項目	小項目	提案書記載内容	評価基準	配点	配点小計
1 提案の要旨	—	提案内容の要旨を体系的に整理し、簡潔かつ明確に示すこと。	提案内容の要旨を体系的に整理し、簡潔かつ明確に示されているか。	15	15
2 提案者について	(1) ワークライフバランスに関する取組	以下に示す認定等の取得状況を示すこと。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみんマーク、プラチナくるみんマーク)の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし)の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール)の取得 ④よこはまグッドバランス賞	取得状況に応じて評価。	5	15
	(2) 障害者雇用に関する取組	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.2%の達成状況を示すこと。 ・達成している(従業員45.5人以上)、又は障害者を1人以上雇用している(従業員45.5人未満)	達成状況に応じて評価。	5	
	(3) 健康経営に関する取組	以下に示す認定等の取得状況を示すこと。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人(大規模法人・中小規模法人)の取得 ②横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証	取得状況に応じて評価。	5	
3 体制、実績、プロジェクト管理	(1) 業務実施体制	業務実施体制を示すこと。各従事者について、専任か兼任か示すこと。	業務の遂行に十分な従事者が割り当てられているか。	25	70
	(2) 配置予定者の業務実績、経験	本業務と関連する所有資格、本業務と類似の業務経歴を示すこと。	過去の類似業務において、各配置予定者が本業務における役割の経験等を有しているか。また、役割ごとに必要または関連する資格を有しているか。	15	
	(3) プロジェクト管理	進捗、リスク、問題、ToDo、成果物の品質、変更管理の実施方法、本市とのコミュニケーション方法等、プロジェクト管理に必要な実施項目を示すこと。	進捗、リスク、問題、ToDo、成果物の品質、変更管理の実施方法、本市とのコミュニケーション方法等、プロジェクト管理に必要な実施項目が、提案者の考えとともに具体的に明示されており、妥当性があるか。	15	

	(4) 発注者の負担を考慮したシステム構築	実装・テストにあたり、本市、特に学校現場の負担軽減を考慮した工夫を示すこと。	実装・テストにあたっての本市、特に学校現場の負担、作業量を定量的に算出できているか。また、負担を軽減する具体策が明示されているか。	15	
4 運用費用	—	令和6年4月以降の安定運用を図るための運用保守サービス、サポート体制の内容及び費用を示すこと。また、運用コスト低減に資するシステム構築上の工夫を示すこと。	令和6年4月以降の安定運用を図るための運用保守サービス、サポート体制の内容及び費用が具体的に示されているか。また、運用コスト低減に資するシステム構築上の工夫が具体的に明示されており、妥当性があるか。	25	25
5 次年度以降に向けた調査・研究	—	本業務で構築する認証基盤等を、今後別途進める次世代の校務デジタル化においても活用することを踏まえ、次年度以降のシステム改善に向けた調査・研究の実施方針、考え方を示すこと。	次世代の校務デジタル化の方向性について理解しているか。また、調査・研究の実施方針、考え方に妥当性があるか。	15	15
6 ダッシュボード機能	—	日常的に使いやすいダッシュボード機能とするための考えや工夫を示すこと。また、「分析チャート」や、アラート表示機能の構築イメージも合わせて示すこと。	利用者（教職員、児童生徒）の利便性を考慮したダッシュボードの具体的なイメージが明示されているか。	45	45
7 学習、生活・健康面の各種データ収集	—	学習や生活・健康に関する各種データを収集、データベースに蓄積し、ダッシュボードで分析・可視化する仕組みについて示すこと。	本市が想定するデータや仕組みについて、具体的なイメージが明示されているか。 ※内容、及び、構築する仕組みの数に応じて評価する。	45	45
8 セキュリティ	—	いわゆるゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策等、必要な対策を具体的に示すこと。また、不正アクセスや事故発生時に備えたシステム構築上の仕組み、工夫を示すこと。	本市が想定するセキュリティ対策が具体的に明示されているか。	45	45
9 「家庭と学校の連絡」システム構築	—	家庭と学校間の連絡を行うことができる仕組みについて示すこと。	本市において安定したサービスの提供が見込めるか。また、保護者や教職員の利便性を考慮した提案ができていないか。	30	30
10 次世代の校務デジタル化に向けた調査、クラウド移行提案	—	各校のファイルサーバ及びグループウェアの利用状況を調査する方法を示すこと。	クラウド移行に向けて現状の各校の利用状況を正しく効率よく調査できるか。	15	15